

# Gu-Nya

全てが溢れかえる東京、鳥居で埋め尽くされた稲荷神社、数千の部品で構成される車や電子機器、そして私たちひとりでさえ多くの細胞が集まってできています。

私たちが住む家一つとっても物が散らかる事は日常ですから、「集める事・集まる事」とは生活の喜びであり本質だと言えるでしょう。

そこで、私たちは「集めて載せる楽しみをデザインする」をコンセプトに、美しく散らかるローテーブル Gu-Nya を提案します。

美しく散らかす。



## STEP 4

載せる・掛ける



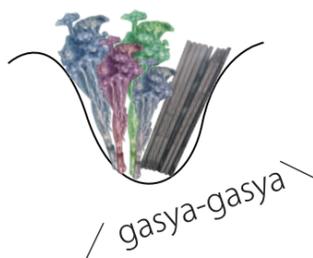
## STEP 3

繰り返し



## STEP 2

曲げ加工



## STEP 1

一枚の鉄板  
穴あけ加工

／ぴとーん＼

一枚の鉄板から生まれた新しい形は人と物の対話を産みます。大量生産・大量消費の社会に古き良き人と物の関係呼び覚ますかもしれません。

載せ方を変えたり、穴に傘をかけたリ、窪みに洗濯物や子供のおもちゃが溜まってもしいかもしれません。雑誌で窪みを埋めてもいいかもしれません。「載せて掛る」楽しみは「収集する」喜びに変わります。

何となく「載せる・掛る」から、工夫して「載せたい・掛けたい」と思える、テーブルと使う人の気持ちが繋がります。「載せたい・掛けたい」から人はテーブルに載せるための「収集」を始めるでしょう。

このローテーブルは平らな面を持ちません。あるのは不規則な曲面と穴だけです。不規則な曲面から生まれる隙間は、「工夫して載せる」テトリスのような楽しさを生み出します。

